

麦づくり情報(No.5)



1. 麦作況情報田の生育概況(3月1日現在)

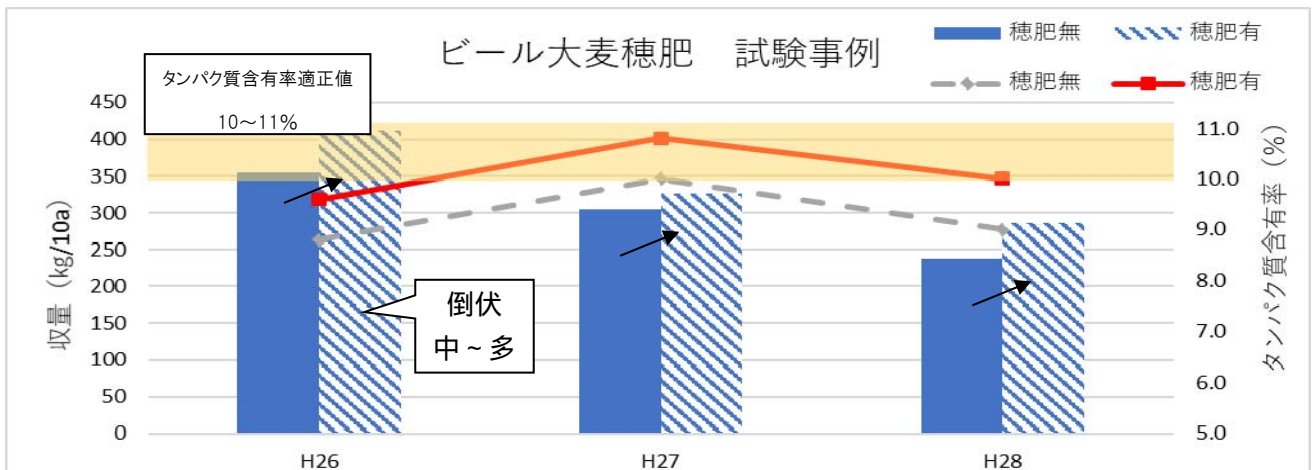
場所	品種名		播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (L)	葉色	概況
川副	サチホ ゴールデン 6条播き	本年値	12/1	10.1	604	4.9	48.9	草丈は昨年よりやや低い。(81%) 茎数は昨年より少ない。(67%) 葉令からみた生育は 昨年より遅い。
		昨年値 ※参考	12/10	12.5	898	6.9	42.2	
大和	シロガネ コムギ 4条播き	本年値	11/27	12.8	689	6.0	50.3	草丈は平年より低い。(63%) 茎数は平年とほぼ同じ。(100%) 葉令からみた生育は 平年よりやや遅い。
		平年値	11/29	20.5	691	6.4	43.3	

生育は、平年よりもやや遅れている。また、葉色が濃い状況となっている。

2. 今後の管理

○穂肥施用について

ビール麦 今年の場合、2月の降水量は少ない(49mm)ため、肥料の流亡は少ないと考えられ、葉色は濃い傾向にある。ただし、麦の生育が平年より遅れており、これから麦の生育が急激に進むに従い、葉色が低下する可能性がある。また、近年タンパク質含有率が低い傾向にあるため、**BB602**で**10~15 kg/10a**施用を行い、タンパク質含有率確保に努める。ただし、倒伏を招く可能性があるため、過剰な施肥は行わない。時期は、**3月10日頃までに**実施する。大豆後においても同様に施肥を行うが、中間追肥を行った圃場においては施肥しない。



穂肥施用により、タンパク質含有率および収量が向上する

小麦 地区のこよみに準じて施肥を行う。

○今後の管理作業 ~麦踏みはそろそろ晩限~

今後の管理は、土入れ作業を中心に行う。

① 麦踏み 必ず土壌が乾燥した状態で!

今のところ、麦踏みが可能な圃場が多いが、節間伸長期以降(右図の時期)は、初期分けつ茎が折れ、穂数の減少や倒伏抵抗力が低下することがあるため実施しない。(麦踏みの晩限は草丈20~25cm程度)

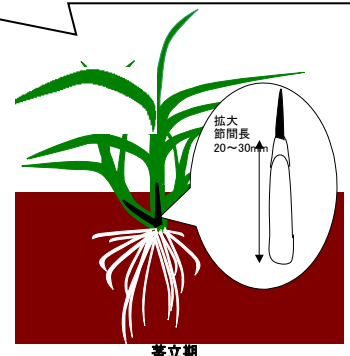
② 土入れ 肥効を高めるため穂肥後に実施する!

雑草防除や排水対策にもなるため、圃場の条件をみながら計画的に実施する。なお、土入れは分けつを抑制することもあるため、生育量が少ない圃場については、控えめに実施する。

○雑草対策

ハーモニー水和剤の使用時期は、節間伸長期までとなっているので、夕デ類などが発生している圃場では、早急に散布する。

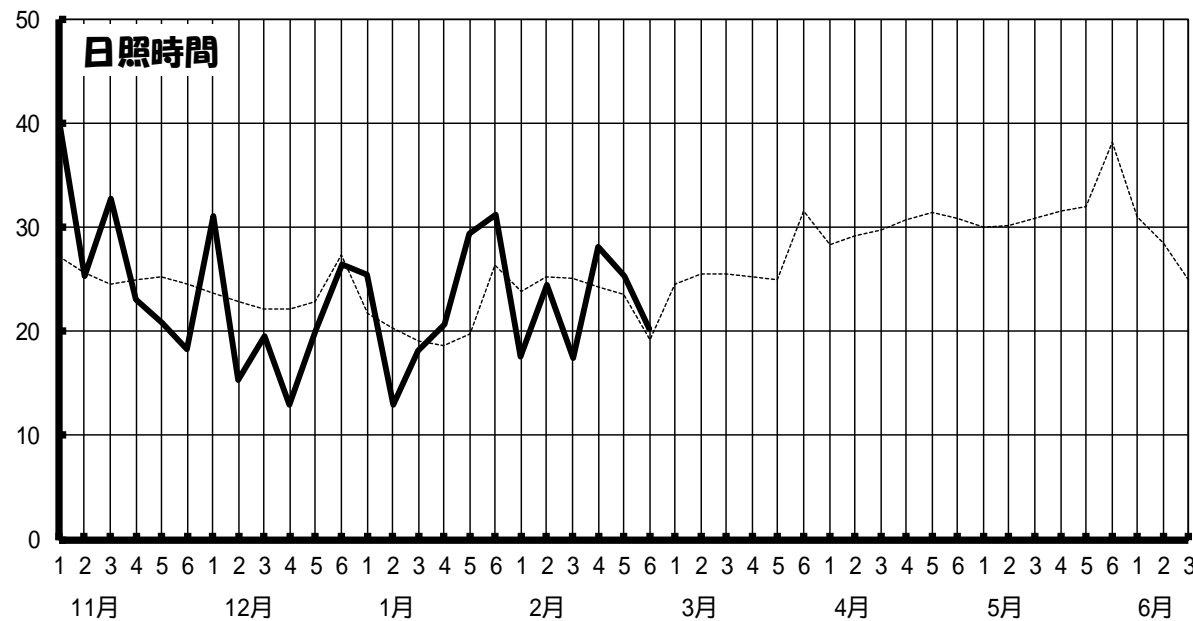
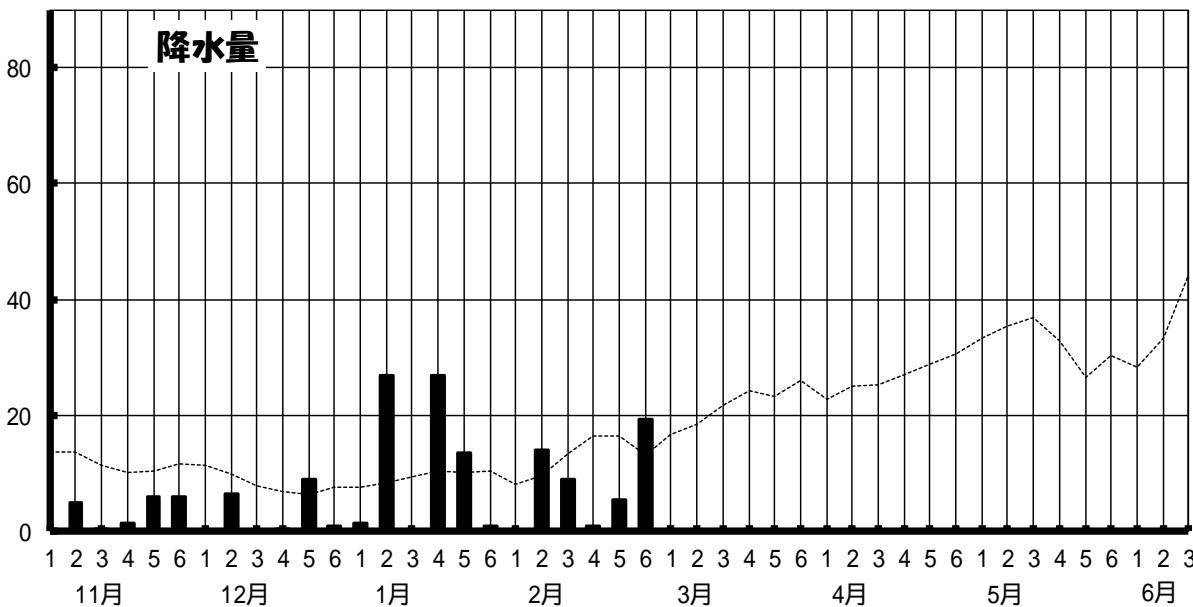
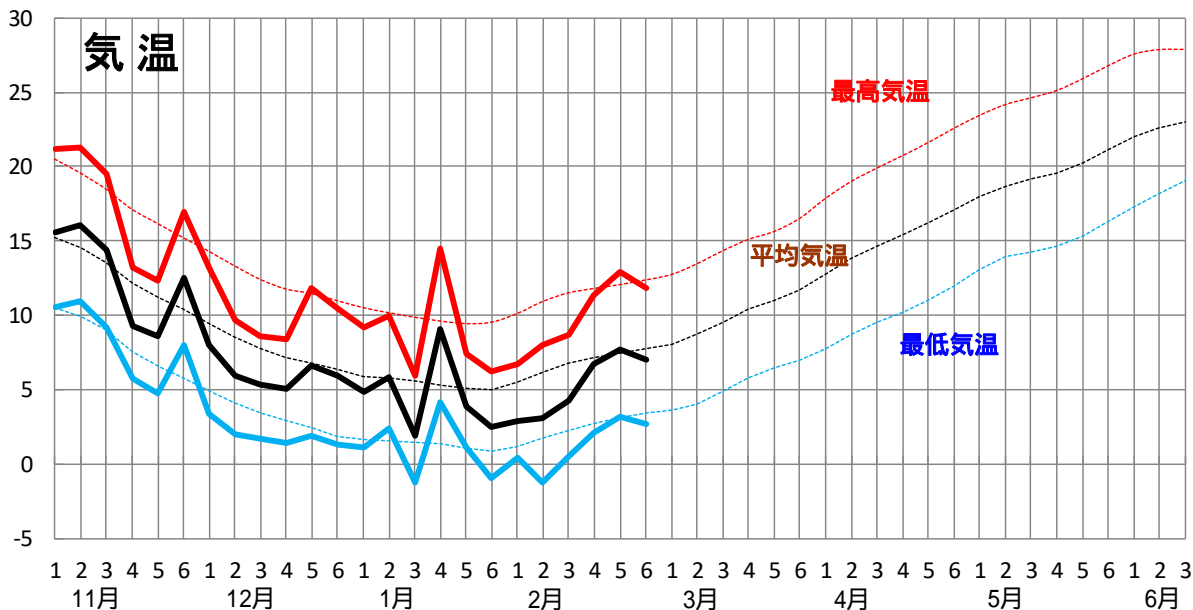
茎立期
この時期になると、麦踏みは実施できない



30年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業改良普及センター



グラフ中の点線は平年値